



村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ みんなで気づく（築く）さわやか天栄

2018.7.12

# 教育委員会だより No.84



魅力いっぱい 「愛村心（1尊心）」を育む天栄村！

発行：天栄村教育委員会

## 「特別の教科 道徳」

小学校は今年度から、「道徳科」の授業がスタートしています。教科となった道徳は今までとの道徳と何が違うのでしょうか。

まず一番の気がかりは「評価」を行うことではないでしょうか。学習指導要領の目標を讀むと、一文で表記されています。これは、観点別に表記されている他教科の目標と大きく違ふ点です。道徳は、その特性上、観点別に分けて評価することが難しいのです。よって、観点ごとに評価するのではなく、次の視点で評価するようになります。

- ① 個々の内容項目ごとではなく、**大くくりなまとまりの期間を設定する。**
- ② 他児童生徒と比較するのではなく、**児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止め、励ます個人内評価である。**
- ③ 学習活動において児童生徒がより**多面的・多角的な見方へと発展させているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか。**

二つ目は、見取りと評価です。評価を適正に行うためには、授業における児童生徒の成長の過程について、何を、どのように見取るのかを意識していくことが大切になってきます。しかし、「道徳的な価値をどれだけ理解したか」や「道徳性の様相がどれだけ育ったか」という達成度を設定した評価をするのではなく、「**どんな学びをしたか**」という**内容を評価**していくことができる授業を構想する必要があります。

評価の方法については、ご質問等あれば村教育委員会指導主事までご連絡ください。

### 村特別支援教育担当者研修会

6月28日（木）に特別支援教育コーディネーターや担任、支援員の先生方を対象に、個別の教育支援計画への**合理的配慮**の提供の手続きや明記の仕方についての研修会を開きました。先生方からは、「本人や保護者の教育的ニーズを踏まえることの大切さが理解できた。」「今ある個別の教育支援計画を見直したい。」などの感想が聞かれました。

### 天栄米がヤフー本社に

7月3日付け福島民友新聞に、「ヤフー本社で天栄米提供」という記事が掲載されました。「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」の国際総合部門で9年連続金賞に輝いた天栄米が、ヤフー本社内の社員食堂で約1カ月間提供されます。ヤフーでは、震災復興支援として、被災地の特産物を提供しているそうですが、通常は2〜5日間の提供ですので、このように長い期間提供されるのは、天栄米が初めてだそうです。これは、社員から「一般のコメとおいしさが違ふ」と好評だったため、期間を4倍に延長したとのこと。この記事を読み、天栄村の子どもたちにも改めて天栄の素晴らしさや誇りを実感してほしいと思えました。

## 「主体的・対話的で 深い学び」を自問する②

前号は「主体的な学び」にスポットを当ててみましたが、今回は、「**対話的な学び**」を展開していく上での授業改善の視点（自問例）を掲載します。日々の授業を見つめ直す参考にしてください。

- ① 子どもが必要を感じているか。  
⇒ 教師の「話し合ってみましょう。」といった指示があつて動くのでは受け身の姿勢です。子ども自らが話し合う必要感をもつことが大切です。
- ② 子どもは、力を合わせる目的を理解しているか。  
⇒ 挙手は子どもの意欲のみに支えられていたり、一部の子どもが発言だけで進められていたりしては「対話」ではありません。  
⇒ 解決のための協働意識をもつことが大切です。
- ③ 受け止める力、反応する力をもっているか。  
⇒ どのような伝え方をしているかを見取り、そのよさを価値付けることで対話力がついてきます。この力は一朝一夕には育めません。「教える」のではなく「育てる」意識をもち、よさを発揮している学びを称賛し、そのよさを広めていくという関わりを繰り返していくことが大切です。

対話する目的・ゴールが子どもたちに見えるかがキーポイントです！



## 生涯学習事業

村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択していけるよう、必要な学習環境を整え、村民の主体的な学習活動を支援出来るよう取り組んでいます。

### ○青少年育成村民会議総会

6月22日（金）に生涯学習センター多目的ホールにおいて、平成30年度天栄村青少年育成村民会議総会が開催されました。この会議は子ども達が安心して生活が出来る環境づくりを行うためのもので、学校だけでなく、駐在員や交通安全協会など地域の方々の協力を得て運営しています。

今年度は登下校時の声掛け運動や危険個所への看板設置、救急救命講習会など、子ども達の安全のため、地域一体となって実施してまいります。



### ○歴史学び教室

6月20日（水）、21日（木）、26日（火）の三日間、村内の史跡を巡る歴史学び教室が開催されました。

村内の史跡や名勝を学校ごとに見学し、天栄村文化財保護審議委員の方々に説明をしていただきました。ふるさとの歴史を知る貴重な時間となりました。



### ○つなぐ英語教育推進事業（セカクル）

7月7日（土）に天栄中学校において、つなぐ英語教育推進事業「通称：セカクル」が開催されました。今年で3年目となる事業で、早稲田大学国際教養学部にも所属する学生サークル「セカクル」が来村し、中学生と交流を図りました。様々なゲームや村の良さを発見するディスカッションなど、生徒は終始、英語を使って実施していました。セカクルのメンバーには日本語がうまく話せない方もいましたが、一生懸命、日本語で説明する姿を見て、チャレンジする大切さ、一歩踏み出す大切さを学んでいました。

